

カリキュラム 区分		授業 科目	健康生活支援技術演習 Practice in Nursing skills of healthy Life			担当 教員	地域、小児、ウ イメンズヘル ス、精神の教員
開講年次	3年次前期	単位数	1単位	科目 分類	看護学科目	授業形態	演習
選択必修	必修	時間数	45時間			使用教室	
授業の目的及びねらい							
地域で生活するあらゆる人々を対象として、生涯を通して健康で安心して暮らすことができるように、健康生活を維持・増進させるために必要な看護技術を幅広く演習する。							
授業のキーワード							
講義回数							
授 業 内 容 及 び 計 画							
1回	<p>健康生活支援技術演習全体のオリエンテーション</p> <p>精神看護学に関する技術：1コマ ・社会生活技能訓練（SST）</p> <p>小児看護学に関する技術：2コマ ・身体計測と発育評価 ・調乳・離乳食</p> <p>ウイメンズヘルス看護学に関する技術：2コマ ・褥婦のフィジカルアセスメント（産褥復古・乳房）、授乳ケア ・沐浴、おむつ交換、哺乳方法（哺乳瓶、カップフィーディング）</p> <p>～</p> <p>地域看護学に関する技術：22コマ ・健康相談・・模擬事例（生活習慣病）を基にした健康相談の実施 ・乳幼児健診問診・・1歳6カ月児健康診査における問診の実施 ・家庭訪問・・模擬事例（新生児訪問）を基にした家庭訪問の実施 ・健康教育・・健康教育の企画等</p> <p>23回</p> <p>受講上の注意：コミュニティヘルス支援概論、地域看護援助論Ⅰを履修後に受講するのが望ましい</p>						
テキスト	授業時 必要な資料を配布する						
参考文献							
成績評価の方法と基準							
精神（10点）、小児（15点）、母性（15点）、地域（60点）の配分で出席状況、演習参加状況、課題レポート、成果物などで評価する。							
教員から学生へのメッセージ							
演習はグループに分かれて、各プログラムを実施していきます。後期から始まる実習で必要とされる重要な援助技術ばかりです。グループで協力し合って、主体的に取り組んでください。							